



金融広報中央委員会との共催により「親子のためのおかね学習フェスタ」を開催しました



11月23日(土)、大分市コンパルホールにおいて「**親子のためのおかね学習フェスタ**」を開催し、600名を超える親子が、おかねに関するお話し会や、各種体験プログラム等に参加しました。

「**おかねの体験学習プログラム**」では、模擬のお札やコインを数えたり、引換え効力を鑑定したりして中央銀行の仕事を体験しました。また、その仕事で得た給料(模擬のおかね)で、「カレー作りゲーム」に挑戦しました。持っているおかねを上手にやりくりして、自分が好きなカレーや家族に食べてもらいたいカレーの材料を買う姿がありました。

「**子どものためのおはなし会**」では、衛藤 千江美 金融広報アドバイザーが、「やりくり上手になろう!」と題して講演を行いました。

講演では、最近買ったものを思い出し、それが「必要なもの」なのか「欲しいもの」なのかを考えてもらいました。

「**ガチャピン・ムックのスペシャルショー**」では、テレビ等で人気の「ガチャピン・ムック」が、お姉さんと一緒におかねの役割や流通などについて説明しました。大分の観光地や遊園地、美味しい食べ物の話なども出て、会場は笑いと歓声に包まれました。

その他にも、「貯金箱作り」、「お札の秘密体験」、「おかねについて学ぶコーナー」、「模擬一億円パック重さ体験」などもあり、秋の一日、親子で楽しみながらおかねの働きや大切さなどについて学びました。

県立津久見高等学校で「金融教育公開授業」を開催しました

12月5日(木)、大分県立津久見高等学校において、同校との共催により「**金融教育公開授業 in 大分**」を開催し、同校生徒・教職員・保護者等約670名が参加しました。

5つのクラスで行われた公開授業では、「ビジネスとお金の関係」、「運転資金って何?」、「モノの値段について考えよう」などのテーマで授業に取り組みました。

このうち、「運転資金って何?」の授業では、「お金は経済の血液の役割をしており、金融機関は余った血液(お金)を不足している人に貸し出す役割を担っている。経営のなかで『運転資金』は経営上発生する費用で、運転資金を金融機関から借り入れることは正常な経営である」などと説明しました。

この後、体育館でファイナンシャル・プランナーの **いちのせ かつみ** 氏が、「**知って得するお金の話**」と題する講演を行いました。講演では、最近の悪質商法や、ヤミ金の手口などに関する説明もあり、参加者一同お金に関する様々な問題の恐さを再認識しました。



大分市ホルトホールにおいて、「金融経済講演会」を開催します



平成26年2月21日(金)、18:30~20:00に大分市ホルトホール 市民ホール(大ホール)において、「**金融経済講演会**」を開催し「女性の品格」等の著書でも有名な **坂東 知るぽると** 師に、「**品格あるお金との付き合い方**」と題し、皆共
大分県金融広報委員会
入場は無料ですが、事前のお申込みが必要(先着1,000名)。お申込みは、「金融経済講演会事務局」(Tel: 097-538-9724、Fax: 097-538-9694、Eメール: uketsuke@planning-oita.jp)まで(来年1月7日以降受付開始)。

